

赤とんぼの会講演会 10/18

# ドラキュラやミイラ、 憲法をめぐる怪談話



ピナードさんの話に魅了されました。その内容を事務局の責任で以下に要約します。但し、話題の順番等について、編集の都合上変更してありますのでご了承ください。



No.189号  
2009年10月30日  
発行人 宮崎 優子  
事務局 日高 礼子  
☎ 097-545-3134  
FAX 097-545-3134

## 肝心なチェンジをやっていないオバマ政権

チェンジー言で政権を執ったといっても過言ではないオバマ政権。

でも戦争を終わりにすると言ったにも関わらず、アフガン、イラクからまだ撤退せず、国防総省の予算も減らず、国防長官もブッシュ政権の時のゲイツのまま。オバマには“期待”ではなく“希求”しよう。希望して待っているだけでは変わらない。

## 日本の防衛戦略とホジャの墓

政治経済の時事問題の中味を見るときレンズを通して見ると分かりやすくなる。私は昔話をレンズにして見ることが多い。トルコの昔話にホジャというおじいさんが出てくる。天才で頓知があって愛すべき人物。そのホジャの墓は、前面は鉄の扉があって南京錠が掛かった完璧なものだが、周りには何も無い。誰でも入ってお墓に落書きさえできる状態。ホジャ最後の風刺のきいたジョークだと言われている。

日本の防衛戦略をみると、新宿区市谷を正面にして見ると完璧、毎年防衛費4兆円以上もかけて戦車からイージス艦、ミサイル防衛システム（先制攻撃のためにあるもので迎撃には全然役立たないのだが、防衛予算をつけるためのカモフラージュとして迎撃機能を強調している）まで……ところが千代田区霞が関の農林水産省のデータに目を移すと、食糧は6割輸入、東京に限れば1パーセントしか自給できていない。木材は8割輸入、国民の生活はまったくの無防備状態だ。

## ミイラ化したアメリカ憲法

アメリカ政府は憲法に書かれていることと全く違うことをやっている。曲がり角は1947年の国家安全法の成立。それからそれまでの戦争省が国防総省になり、CIAが出来た。戦争省の時は戦争の期間だけ多額の予算が組まれていたが、国防総省になってからは、平時での予算も膨大になっていった。そして1945年以降アメリカは200回以上の戦争をしているが、一度も宣戦布告をしていない。合衆国憲法の規定では宣戦布告は議会の承認がいる。そこで政府は戦争を警察行動と呼び憲法上あり得ないレトリック（戦争じゃない国防だ）を使って事実上の戦争をしてきた。言葉そのものが崩壊している。

## 海賊対処法は日本国憲法のミイラ化の「始まり」？

1991年の湾岸戦争の時、海外派兵を阻止した日本国憲法を素敵だと思った。しかし“憲法を守る”では無意味。今年6月に成立した海賊対処法で、政府は国会承認なしにほぼ無制限に自衛隊を海外に送れることになり、ソマリア沖に日本の護衛艦（海外のメディアは駆逐艦とはっきり書いている）を送った。そもそも海賊と呼ばれている人たちはもともと漁民で、ソマリアが無政府状態になってから、他国の大型漁船の密猟で生活を脅かされ武装したもの。

大企業の処理できない産業廃棄物など大量に不法投棄され、ソマリアの海岸に流れ着いたもので住民が病気になって、国連に訴えても知らん顔された拳句の海賊行為。

ソマリアの無政府状態が問題なのであって、これこそ日本国憲法の出番のはず。武力を提供するのではなく、平和的解決を国民が政府に要求しなければ。

## 第5福竜丸は米軍に勝利した

1954年（昭和29年）ビキニ環礁で被曝した第5福竜丸の事件は可哀相な被害者としてではなく、生き残って米軍に勝利した人たちとして語り継ぐべきだ。

無線長の久保山愛吉さんは被曝に気づいてから、戦争体験者の勳で自分達の存在が米軍に知られると撃沈されることも考え、無線を一切打たず焼津港まで逃げかえった。被曝した時、空から降り続けた灰を集め、瓶に入れて……それによってアメリカが行ったのは原子爆弾ではなく水素爆弾の実験だったということがわかった。半年後「原水爆の被害者は私を最後にしてほしい」と言って久保山さんは亡くなったのだが、米軍に抗して世界に情報を流した、勝利した人。そこが大事で、すごいところだ。

## そしてドラキュラ

昨年破綻したリーマンは政治力に欠けた。ライバルで、共和党系のゴールドマンサックスを生かすために潰されたようなもの。

AIGもデリバティブ（実体の無い取引に保険をかけるサービス）で危機的だったのだが、米軍の保険を一手に引き受けているAIGを潰せば、米軍の内部情報が露呈するから、公的資金（私達の血税）が注入されて生かされた。ドラキュラは相手を殺さずに、生血（血税）を吸い続ける。そして、千億円単位でゴールドマンサックス(※)にお金が入っていく。



サインもしていただきました

何にでも作られた怖さ、張りぼての恐しさがある。“恐いな”“怪しいな”で思考停止しないで、とことん調べて突きつめていくと、新たな発見があり、色んな事が見えてくる。

編集者注

(※) AIGのCDS保険債権をゴールドマンサックスが大量に保有し、AIGの資金でこ入れもしている。

## 感想より

- 「求めよ、さらば与えられん」という言葉を思い出しました。また本当に怖いものは何か目をこらして見ることの大切さに気づきました。ありがとうございました。
- 分かりやすいたとえで、私たちをとりまく情報・状況の本質はどこにあるのか、何が大切で何がおそれるべきことなのか。色々と考えさせられました。多分「知ること」から、周りの状況が見え、変える運動へとつながっていくのだと思ったので、自分の考えだけにとらわれず、様々な情報を自分から求めていこうと思います。
- 大変悩ましく恐ろしい話でしたが、シニカルなユーモアを交えた話術で思わず引き込まれてしまいました。「大事な所が抜けている」心にズシンとききました。「待」でなく「求」の気持ちを持って、世の中に接して行きたいと思います。

# 原発をめぐる風景は「ナニコレ?!」だらけ

大原 洋子

**原子力業界にはウソツパチと詭弁がまかり通っている。**

建設の始まった当初からそうであった。「電気代が安くなる、クリーンで未来あるエネルギー、平和利用」と銘打って、それはやすやすと進められた。

しかし、スリーマイル島（'79年）チェルノブイリ（'86年）の重大事故によって原発の持つ危険性は覆い隠せなくなり、海外では原発建設にブレーキがかかっていた。

ところが、ここへきて「発電時にCO<sub>2</sub>を出さない（「そのかわり死の灰を出すよ」とは一切言わない）」と温暖化防止キャンペーンに利用され、「原発は新たな輸出産業」と経産省は期待しているという。何ということだ。これでは国自体が死の商人そのものではないか。

**山口県上関原発は27年も前に計画されたが…**

スタートから地元住民の理解を得ないまま強行され、破綻していた。本来なら2005年に稼働予定が、対岸の祝島初め強い反対を得て進まないできた。

ところが、昨年、県知事が埋め立て許可を与え、中国電力は今年の9月10日、海の埋め立てに着手しようとした。そして10月22日現在、この阻止行動のための24時間座り込み体制は続いている。市民グループや社民党の工事中止要請に対しても中電は聞く耳を持たず、どんな手を使ってでも強行しようとしている。しかし、この闘いは県民初め多くの共感を得た。現地にはためく色とりどりの激励メッセージや多くのカンパが何よりの証拠だ。

**さて、プルサーマルである。**

これはもっと深刻だ。佐賀県玄海原発で日本で最初に行われようとしているこの危険極まりない人体実験は、去る10月15日、MOX燃料（プルトニウムとウランの混合酸化物）が原発に装荷されるという重大な局面を迎えたにもかかわらず、マスコミの扱いは驚くほど小さかった。新聞記事は必死で探さなければ見つからないし、テレビ・ラジオはもってのほか。九州の地方ニュースとして片づけられてしまった。青森県六所村の再処理工場がそうであったように、マスコミの扱いはきわめて小さい。

**世界が撤退したプルサーマルを軽々に始めることはもちろん許せないが、この報道管制ともいうべき事態は大問題だ。**

普通に暮らし、新聞・テレビを見ていてこの重大なニュースが耳に入らないとしたら、大いなる知る権利の剥奪だ。真実を伝えると反対の声が大きくなり、頓挫するといけなから、故意に伝えないようにしているとしか思えない。

畑をつぶして家を建てることとはレベルが違うのだ。再処理工場もプルサーマルもたった一回稼働されてしまうと世界が変わるのだ。永遠にその地は汚され、管理を必要とし（使用済みMOXが埋められる温度に下がるまで500年！佐賀は永遠に死の灰の捨て場になる）、畑に戻らないどころか、人の住む環境ではなくなるのだ。

大事なことが知らされない、それこそが原発の本質を如実にあらわしている。ネットや週刊金曜日などいろんな媒体を見つけ、情報を得てください。新聞社やテレビ局がきちんと報じるようにアピールしてください。営業運転の12月初旬まで時間がありません。これを止めなければ本当に取り返しのつかないことになってしまいます。



DVDを500円で送付します。

TEL・FAX  
(0836)21-0084  
(大原まで)

カンパ 郵便振替 01390-4-67782  
上関原発を建てさせない祝島島民の会  
激励メッセージ 〒742-1401 上関島祝島 祝島島民の会

# つとんぼのわんぱう



## オバマ大統領にノーベル平和賞

正直、拍手を送りたい。唯一の原爆使用国アメリカに対してノーベル平和賞もないものだ、という批判もあったけれど、だからこそ世界に向けて核廃絶を呼びかける彼の勇気は素晴らしいと思う。平和賞は、世界中で勇気ある取組みを続けている人々への賞だ。正義と尊厳のために戦っているすべての人が分かち合わねばならないと、オバマさんは声明の中で述べている。そこで私は、こう考えるのだ。たとえ小さくても、赤とんぼは勇気ある取組みを続けているのだからノーベル賞は、私たちのものだと言つていい。受賞の時の大統領の声明は、実にこまやかでいい文章であった。

政治が動いた。それなりに希望が持てるかな?と思つたが、納得がいかないことがある。

### 国家・戦略室という大巨

この呼称には驚いた。  
エッ?戦争でも始めようというの?この国家つて何?  
その国家に対してどれ程の抵抗

を持ちながら昭和を過して来たことか。国家というものにふみつぶされながら生きて来たわれわれの神経を逆なでするようなこの呼び名を、臆面もなくつける政治家。この呼び名をおかしいと思わないセンスの無さ。そして、皆がこの国家戦略室という呼び名に馴れて、何の気もなく戦略なんて言葉を使っている中に、この戦略室は、何の不思議もなく恐しい使用法をされていることに気付いてもおそいのではないか?

5本植えた夕顔が2本根づいて、夕方には蕾がふくらむ。さあ忙しい、私は椅子を持ってつぼみを見つめる。4時、5時、6時ゆるやかにつぼみはふくらむ。風のせいかわ、つぼみの重さのせいかわ、フルフルとゆれながら、ほどける様に花を開く。が、ちよつと目をはなすと、この間にパツと開いてしまふ。すつかり夕闇の中で何と清らかに咲く夕顔。白い秋。(み)



### 憲法・教育基本法

## 市民連続講座2009

第3回

## 「市民オンブズマンのめざすもの」

12月6日(日) 13:30~

大分市コンパルホール309号室

<講師> 永井 敬三さん  
(おいた市民オンブズマン)

<連絡>090-4583-8797(池田)

### 学習会

## 平和憲法を守る会・大分

入場無料

## 「日本国憲法と福祉国家」

11月28日(土) 14:00~

男女共同参画プラザ・アイネス

<講師> 多田 一路さん  
(立命館大学准教授)

<連絡>097-554-7704(二宮)

### 映画上映

## YASUKUNI(靖国)をみんなで観よう

<中国人監督> 李 櫻(リ・イン)さん  
(今回の上映は、この1回だけです)

11月15日(日)

9:00~/開場 9:30~/上映

津久見市民会館大ホール

大人1,300円 中高生800円

<連絡>0972-82-4266  
(映画「YASUKUNI」上映実行委員会)

## 名もなきひとむれ歩きます

12月8日(火) 13:30  
大分駅噴水前

アーサー・ピナードさんの講演会が無事に終わってホッとしているところです。  
(事務局一同)



### 2009年度

(収入) 意見広告募金総額 **3,210,699**円 (3,145人)

(支出)

項目	金額	備考
広告料	3,078,500	合同、朝日、毎日、読売、西日本
印刷費	60,690	チラシ、封筒印刷代、コピー代
会議費	13,330	コンパル使用料、世話人会交通費等
通信費	24,390	封筒、チラシ、礼状送料、電話代等
家賃	12,000	みんなの家 6月~9月
合計	3,188,910	

収入 3,210,699 - 支出 3,188,910 = 残金 21,789円

## 赤とんぼ意見広告 会計報告

## 声に出して読んでみましょう憲法九条

「戦争の放棄、戦力の不保持、交戦権否認」  
①日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。  
②前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。  
赤とんぼの会事務局 千七百〇八五五 大分市豊鏡四組 みんなの家 TEL:097-554-3334